

# 農繁期 レポート

令和4年 6月号

## エースファーム

オーナー	株式会社エース
水田面積	20.1アール
保証量	玄米 905kg
形態品種	特別栽培コシヒカリ



## 生産者 高橋 秀紀さん

田植え後天気の良い日が続いた為、水の管理が大変でしたが、今月14日に梅雨入りしてほんの少し水不足が解消したところです。

最近になって稲も分けつが始まり順調に成長してるように感じています。これから猪の被害も心配なところですが、しっかり対策をしていきたいと思えます。

日南町の福万来地区では7月の七夕の頃になるとヒメボタルが舞い始めます。

### 6月の作業内容

#### 1. 除草剤まき (田んぼの中)

田植え1週間後位に苗が根付き成長を始めるタイミングに1回目の除草剤を散布します。雑草は稲にとって大敵です。放置すると水分や養分を横取りしたり、日光を遮り病害虫の発生源となります。田んぼ内の発生を予防します。



#### 2. 草刈り (畦道)

畦道の草刈りは田植え後から何度も行います。強力な除草剤を使えば楽ですが、雑草の根まで枯らしてしまうことで畦が弱くなり崩れる可能性もあるので地面に出ている部分を機械で刈り取ります。



#### 3. 水の管理

水の管理が自動化されていない地域では農家さんが全ての田んぼの水深を基本毎日確認します。水は栄養分を土から吸い上げるのに必要なだけでなく、寒暖の差が激しい山間部では稲が冷えすぎないように保温しています。



#### ★蛍の季節★

鳥取県日南町の一部地域はヒメボタルとゲンジボタルが同時にかつ大規模に見られる全国でも珍しいホタル鑑賞地です。毎年県内外から鑑賞に来られます。

※以下写真は「よしみちにちなん」より引用

